

いつでもできる どこでもできる 森田の子

福井市森田中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	12回

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	45人
授業ボランティア（含：低ボラ）	人
登下校支援ボランティア	人
その他（ ）	人

(3) 特色ある活動

テーマ「 キャリア教育 」

具体的活動内容

テーマ「発達段階に応じた望ましい職業観、勤労観等を育てる取組」

生徒一人ひとりが自己の生き方を主体的に考え、将来社会人・職業人として自立するために必要な意欲・態度を身につけるには、中学生である今をどう生きるかを考えさせたい。

なりたい自分の姿に近づくために、発達段階に応じた体験活動や講話等により、望ましい勤労観、職業観を育てるため、それぞれの学年で次のような取組を行った。

(1年)「わ～きんぐ講座」

- ・ 9名の講師（アナウンサー、短大教授、弁護士、動物飼育員、柔道整復師、消防士、ヘアメイクスタイリスト、幼稚園教諭、元Jリーガー）を招いて講師の仕事内容を聞き、その生き方に触れ、自分の将来に対する夢やあこがれに向けて、努力しようとする力を育てる。



【アナウンサーの仕事】

「農業体験」

クラスごとに牧場や農場に出かけ、種を植えたり乳搾りなどを体験し、その後収穫した農産物を使ってピザや団子等を調理した。

(2年)「職場体験」



森田地区を中心に39か所（製造、販売、介護、保育、美容等）の事業所等の協力を得ることができた。また、事前指導としてホテルマンを講師に招き、接客態度や社会人としてのあいさつや礼儀について話を聞いた。

(3年)「プロから 真似る・学ぶ」

5名の講師（元Jリーガー、短大教授、写真家、野球指導者、チアリーダー）から、講話を聞いたり実際の活動を体験したりして、職業や進路に対する関心意欲の高揚を図った。



【元Jリーガーに学ぶ】

成果と課題

今年度は、全学年が地域の人材や外部講師を招いて、本物に触れたり、働くことの喜びや厳しさを学ぶことができた。一過性のイベントとして単発的に終わらせることのないよう、次年度は3年間を見通した体系的・系統的な計画を作成する必要がある。

また、保護者や地域の関係機関との連携をより一層深め、新たな体験活動先や講師を開拓していきたい。

